

MCL 菜園調理師専門学校 シラバス作成ガイドライン

1. シラバスの作成の基本方針

シラバスの作成に際しては、学生が授業の目的を正しく理解し主体的かつ意欲的に取り組めるよう、学生にとって分かりやすい具体的な記述とする。また、授業計画は不断に見直し、適時その内容を反映するものとする。

実務経験のある講師による授業については、その講師の実務経験の内容およびそれを授業にどのように活用しているかを明示するものとする。

2. シラバスの共通記載項目と記載要領

項目	記載内容
科目名	授業科目の名称を記載します。
年次	受講対象となる学年を記載します。
担当教員	担当講師名を記載します。
実務経験等	担当講師が実務教員の場合のみ記入します。 当該科目と関連のある実務経験について記載します。
授業形態	講義・演習・実習のいずれかを記載します。
時間数	授業の学年総時間数を記載します。
授業の目的・ねらい	学習した内容がどのように役立つかを示し、授業を受けると「こんなことができるようになる」という具体的なイメージがもてるよう、学生を主語にして記載します。 ※「～を身に付ける」:主語が学生、「～を養成する」:主語が講師
授業全体の内容の概要	授業全体の大まかな流れや趣旨を記載します
授業修了時の達成課題 (到達目標)	「授業の目的・ねらい」と対応させて、複数の目標を設定します。授業を修了した時点で出来るようになって欲しい行動を「〇〇できる」という表現で、かつ学生を主語にして記載します。 知識・態度・技能の3領域を意識して記載するのが望ましい。 知識：説明できる、分類できる、適用できる、活用できる 等 態度：行うことができる、表現できる、参加できる 等 技能：実施できる、調べられる、準備できる、工夫できる 等
使用テキスト	使用する教材やテキスト名を記載します。
成績評価の方法	別途定める「成績評価の方法と基準」に従い、当該科目の評価に必要な評価項目を選択し、それぞれの評価割合を設定します。
授業内容	各時間で扱う内容と目標等について記載します。 但し、1つの内容を連続する複数時間で完結させる場合等は、「1～3時間目」のように1行にまとめて記載します。